

## 天溪 2015 年「アンナプルナ内院 13 日間」

### 第 1 部

天溪の今年最後のツアー「アンナプルナ内院 13 日間」を 11 月 13 日～11 月 25 日に行いました。

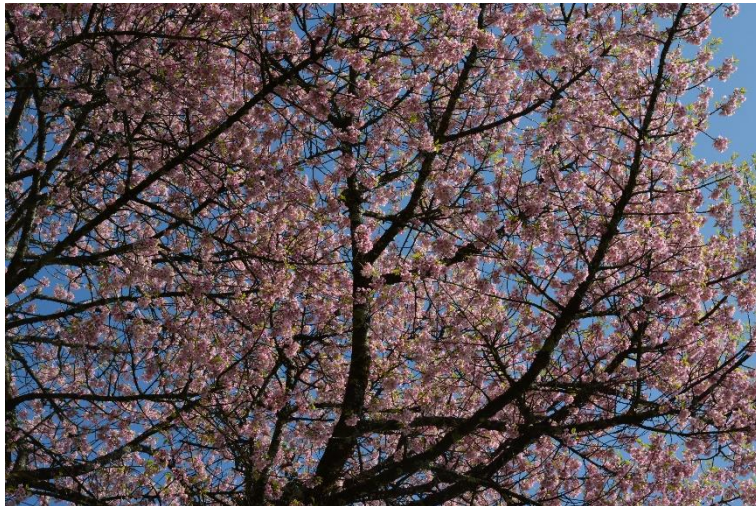
4 月 25 日に起きたネパール地震はカトマンズの北西約 80Km、日本隊が初登頂した世界第 8 位の高峰 マナスル (8163m) の麓、ゴルカ兵で名をはせたゴルカ地方が震源でマグニチュード約 8.0 の直下型大地震でした。テレビで何度も放映された惨状はとてつもなくトレッキングどころでは無い有様でしたが現地から、観光立国のこの国に観光客が来ないのは死活問題で是非援助と思って来て欲しい、と言われツアーを催行。私を信じてご参加いただいた 12 名の皆様には本当に感謝する次第です。



(アンナプルナBC 11/19 日)

#### ○アプローチ(異変)

ポカラへ行く飛行機が離陸寸前に突然諦め駐機場へUターン、結果エンジンの故障で飛行機をチェンジ。ここまでならばたまに有る出来事ですが乗客の目前でエンジンカバーを取外し修理開始。一同啞然、飛行中の故障で無く何よりで、またしても我慢と忍耐とスリリングなトレッキングの始まりでした。最初のトラブルで厄払いしたのかその後は極めて順調に進みガンドルンへ。今年の景色は大きな特徴が、と言うのは桜の花がやたらに見事でこの一帯にこんなに桜が有ったのかと思えるほど。余談ですが我が中房溪谷も 10 年に 1 度こぶしの花が凄く咲く年が有ります。キットそんな巡り合わせに当たったのでしょうか。 ※ヒマラヤの桜は紅葉の様に山の上から下へ向け咲き下ります。



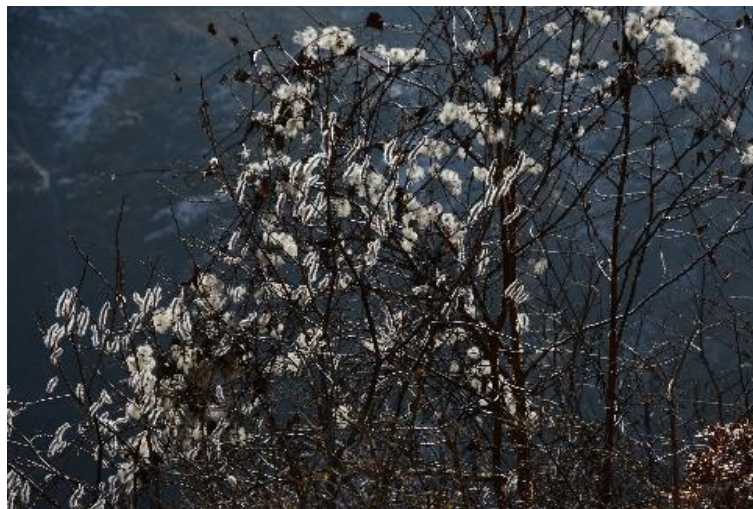
(桜 11/15 日)





○アプローチ(ハーベスト)

11月中旬はこの地方の収穫期に当たり、農家の庭や軒先は日干し乾燥のために収穫した穀物が広げられます。標高差数百メートルに渡る山一面の棚田、牛を使った脱穀、石臼で引く製粉など筆者の知らない戦前日本の農村風景がまだまだ続いています。また、桜、菜の花、ソバの花、穀物の収穫、柳の綿毛など日本の春と秋が同居する珍しい季節もこの時期で、日本の田園を撮影される写真家の皆さん、如何でしょうか？



(柳の綿毛 11/18日)





○マチャプチャレ・ベースキャンプ(MBC)へ

入山してから天気はマズマズ、朝は晴れるも午後は雲が沸き小雨まじりの不安定な状態でした。ところが 4 日目の宿泊地デウラリは到着早々雨が降りだし、断続的に凄い雨足に。その大雨が天候を変えたのか、はたまた私たちの地震支援がポカラの聖山に歓迎されたのかツアーの核心部、マチャプチャレ・ベースキャンプから上部は毎日 終日 晴れ・晴れ・晴れて気温は何時もより高く最高のトレッキングが出来ました。



(聖山マチャプチャレ 11/18 日)



第 2 部はアンナプルナ・ベースキャンプ(ABC) 以降をお伝えします。